

広報の有効活用を 【國分小雪さん】

小さい子どもたちに向けた教室とかの情報を教えてほしいです。私みたいに町外からお嫁に来ると、同級生がいないのでママ友も作りづらくて、子どもと二人っきりでちよつと行ってみようかとなるにはハードルが高くて、小学校に入ればママ友ができるよって言われるんですけど、そこまでの間に核家族のお母さんだったりすると、こもりつきりになってしまったりするので、町で何をやってるのか町民が知らなかったりするので、町の小さい子どもたちに向けた教室とかを広報などを活用してもう少し載せてほしいです。

高校生と町との連携を 【國分小雪さん】

高校生と町が一緒に写真を撮ったりして、こういう場所がSNS映えるんじゃないですか、とかしてみるといいかなと。高校生や中学生

が一番町の魅力がわかっていてと思うので、ハッシュタグ(注1)をつけてSNSに投稿するとか、若い人たちに動いてもらえば町の魅力を発信できると思います。

それからご当地グルメでアイスバーガーとかをPRしてると思うんですが、お店ごとの味の違いとかそういうのをもっとアピールすればいいのかなと思いました。黒にんにくは、作り方とか品質を統一してアピールしてほしいなと思います。町内の農家さんが、町外ではなく小野町で産品を売りたいと思ってもらえる環境づくりも必要だと思います。

(注1)ツイッターなどのソーシャルメディアにおいて「#小野町」のように「#(ハッシュマーク)」の後にキーワードを付与して投稿することで、特定のテーマを一覧表示することができます。



國分小雪さん



夢トークの様子

農業技術の承継を 【六戸開さん】

町内の農家さんの畑で作物を作らせてもらっていますが、秋になってからイノシシが出るので、自分が作っている作物がやられるとやる気がなくなっちゃう、という話は聞いてたんですけど、やっぱりイノシシをなんとかしてもらわないと、町の魅力がある農業っていてもやる人がいなくなってしまう。

あとはせっかく小野高校で農業を学ぶことができるので地元の農家さんと一緒に取り組みをやれたりするといいいかなと。農業だけで生活していくのはなかなか難

しいと農家さんも言ってますけど、町の農家さんは素晴らしい技術を持っていて、その技術を伝えずに終わってしまうのはもったいないので、もっと農業の魅力をわかってもらう取り組みや支援が必要だと思います。

買い物ができる場所を 【樽井えりささん】

子どもたちが小野町で習える習い事は何かあるのかとか、そういうのを広報で紹介してほしいです。

それから食品とかを買う場所がスーパーに限られてしまうので、もっと大きい食品売り場とか買い物ができる場所がほしいです。

町内企業の活性化を 【狩野裕大さん】

地域の経営者の方と話す機会が多くありまして、問題視されているのが若手の人材不足だったり経営者の高齢化のことだったりします。小野町は交通網も発達しているので、郡山とかいわきから

も人材を確保できるような支援策を銀行と町とで連携しながらできれば、町内の企業も活気づくと思います。

町長コメント



町長

貴重なご意見ありがとうございます。これまでの取り組みのうち、効果の上がっているものについてはより効果が上がるよう改善をしていき、また反省すべきところは反省し次につなげていきたいと考えております。小野高のモットーに「夢をカタチに」とあるように、夢は町民の皆さんが幸せを感じられるよう「カタチ」にしなければなりませんので、本日は皆さんにいただいたご意見をこれからのまちづくりの大きいに役立てていきたいと思っております。本日はありがとうございました。